

共産党が来年度予算の要望書提出

加齢性難聴補聴器助成と福祉灯油を最重点に

12月13日、日本共産党市議団は、来年度の予算編成に向けて、要望書を市長に提出しました。

要望内容は『重点要望』として、

- ① 加齢性難聴者向けの補聴器購入助成の実施
- ② 福祉灯油（ぬくもり助成

金）の復活と暖房費高騰対策助成金の支給

それ以外に10分野で59項目が並んでいます。

村上団長が要望書全体について説明。3人の議員が発言したのち、市長は、「物価高騰など国全体に関わることは、国がしっかり対応すべき。国がやらないから

地方がやるというのではな

く・・・」と、福祉の増進との立場に立たず、国との役割分担論に固執しました。

一方、子どもの医療費助成について、「他の自治体と見劣りしないように」と発言。すでに大きな差があることを、市長はどう考えているのでしょうか？

釧路市長 蝦名大也 殿

2023年12月13日

2024年度釧路市予算編成に向けての要望書

日本共産党議員団
村上和繁・梅津則行・西村雅人・小山秀人

<予算編成にあたって>

日頃より、市政運営へのご尽力に敬意を表します。
さて、ハマスとイスラエルでの紛争により、多くの市民が犠牲になっています。それにもかかわらず、日本政府は国連総会での人道的休戦を求める決議にも棄権しました。ロシアによるウクライナ侵攻で物価高騰が著しくなり、世界的な紛争拡大で経済不安も起き、市民の暮らしは一層厳しくなるとともに疲弊した状態に陥っています。
新年度予算編成にあたり、財政調整基金や減債基金なども積極的に活用することを提案します。そして、市民のくらし応援、子育て支援と福祉の推進、負担軽減を重点とした予算編成を求めます。以下、重点要望2項目の他、10の項目に分けて予算要望とします。

<重点要望>

1. 加齢性難聴者向けの補聴器購入・維持に関わる費用を助成すること。
2. 福祉灯油（ぬくもり助成金）を復活すること。少なくとも昨年度と同規模の原油価格高騰対策助成金を支給すること。

<要望項目>

1. 物価高騰から市民の命と暮らしを守る
①子どもの医療費無料化は、入院・通院ともに所得制限なし高校卒業まで対象を広げること。
②学校給食費は、来年度以降も無料にすること。
③国民健康保険料の引き下げ及び子どもの均等割を廃止すること。
④上下水道料金の基本料金免除を継続すること。
2. 市民負担の軽減と福祉の推進
①国による介護保険の見直しが進んでいるが、負担の引き上げや介護保険制度の改悪につながらないよう国に求めること。

共産党議員団が市長に手渡した予算要望

■ 主な予算要望のポイント ■

- 子どもの医療費は高校卒業まで無料に。
- 介護保険料は基金を取り崩して引き下げを。
- 精神科、小児科の医療体制の確保。
- 桜ヶ岡保育園と東部子育て支援センターの存続。
- 学校給食費を引き続き無料にすること。
- 20人学級を市独自にすすめる。
- 就学援助基準をいまの1.3倍に。
支給費目にPTA会費、クラブ活動費の追加。
- 公立大の入学金廃止、授業料を半分に。
- 義務教育学校設置は住民合意を第一に。
子どもの意見表明を確保。
- 市営住宅の空き家を積極的に修繕し入居者を増やす。若者・子育て世帯に家賃補助。



- 介護職員と保育士の就労支援金の創設。
- 会計年度任用職員の賃金の大幅引き上げ。
- 高さや耐浪性のある津波避難所の確保。
- 釧路石炭火発については廃止を含め見直し。
- 鉄道高架計画の撤回、西港開発工事の中止。
- オスプレイの飛行訓練の中止。